

第1生産技術部工具整備課(集研)OB

65歳からの人生は、「仕事・趣味・運動を バランス良く続けることが健康の秘訣だね」

豊田市駒場町にある「工具再研削ツールセンター」。ここは、かつて切削工具の再研磨や工具のトラブルシューティングなどをおこなう「第一生産技術部工具整備課(集研)」を退職したメンバーが設立した事業所です。

立ち上げのきっかけは、谷山さんが「他の企業では機械加工で使う工具の大半を使い捨てにしている」と聞いたことでした。「その無駄をなくすために、長年、自分たちが集研で築き上げた『再研削技能』を生かすことはできないか…。そんな谷山さんの思いを同工機株式会社の宮田義弘社長が聞きつけて支援し、再研削盤や治工具、砥石、測定器を調達。その後、谷山さんと中野さんが中心となり、同社の事業部としてスタートしました。昨年に辻さん、今年の6月に春日井さんが加わり、2012年設立から丸5年の節目として、トヨタ時代の苦労話や、5年間の思いなどを伺いました。



出勤は週2~3日。仕事も趣味も楽しむ。 それが長続きのコツ

中野「しかし5年もよう、続けられたなあ」
本江「本当に。よう続いたと俺たち自身が感じしとるくらいだ(笑)」
中野「やっぱり仕事が面白いということかな」
谷山「出勤が週に2~3日で、あとはやりたい趣味もしっかりやれるという働き方にしたのがよかったよね」
本江「無理をできる年齢でもないからね。でも自分ができることはしっかりやるのが大切だ」
春日井「それに自由になるお金があるのは、やり甲斐につながるね(笑)」
本江「息子には、孫にお金を使えるようにがんばって働いてくれ、なんて言われるよ!」
中野「40年も勤めて、身に着けた技能を捨ててしまうのももったいないからね。その技能が、また世の中の役に立つならありがたいよ」

辻「中野さんに『来い』と言われて入ったけど、技能を生かせるし、楽しいですね」
大内「好きなことをやって、楽しみながら働けるのはありがたいね。難しい仕事が増えて完成したときは、うれしいし、成果が出るからやり甲斐があるよね」
春日井「気を遣うことなくやらせてもらっているのがありがたい」

辛いことも、楽しいことも 今ではいい思い出の、くされ縁同士

中野「谷山さんとは入社以来の長い付き合いだ」
本江「確か谷山さんと中野さんがアパートの隣同士で、僕が歩いて10分くらいのアパートに入っていたから、食事会という名の飲み会をよくしたよ。それからの、くされ縁みたいなものだ」
大内「日曜の朝まで夜勤して、そのあと麻雀やったりね。大変だったけど楽しかった思い出も多いよ」

谷山「当時はクラブ(柔道)と会社の仕事をきっちり両立させなきゃいけなかったからね。何よりそれが大変だったけど、いろんなことを学んだね」

(谷山さんは入社と同時にトヨタ柔道部に入部。その後、38歳からトヨタスポーツ少年団柔道教室で、小中高生と共に68歳まで柔道を楽しみました。(柔道7段))

中野「我々はアナログとコンピュータ時代の境目だったから、それも大変だったかな」

本江「NC化(数値制御による機械加工)がスタートしたころは、感覚がついていかなかったなあ」

春日井「俺はギリギリでパソコンを使える世代だけど、リーマンショック前までの頃が大変だったな」

大内「どちらにしても、これまで健康で働けていることに感謝しなくちゃいかんね」

次に踏み出す勇気があれば なんでもできる!

谷山「そうそう。やっぱり健康第一。まずは歩くこと。有酸素運動は毎日やらないと!」

大内「そう言われても、歳をとるとからだは言うこと聞かんから。なかなかやれない(笑)」

谷山「本当はね、健康のためにどうしたらいいのか、みんなよ〜く知っているんだよ。それをするかしないかは、元気でいたいという思いが強いのか、強くないかだけじゃないかな」

春日井「その通りだとは思いますが、なかなか強い信念を持ってない人も多いですからねえ。健康に関していえば、引き際もやっぱり考えますね」

本江「僕はあと2年くらいかな。だんだん目が辛くなってきた」

谷山「僕は毎日のジョギングを続けられる間は仕事も続けて10周年を迎えたいね」

本江「辻さんと春日井さんはまだ入ったばかりだからね。まだまだがんばってもらわないと!」

中野「健康のためにも何かをやらうとする意欲は大切だね」

谷山「トヨタ出身には素晴らしい技能をもっている人が多いのに、自分でその生かし方に気づかないだけというOBも多いんじゃないかな」

中野「自分の趣味を生かしてもいいしね。仲間がいれば横に広がる」

春日井「会社時代とは、まったく違うことをしたいという人もいるからね」

辻「僕は、できるだけほかの社会と交わるようにしていますね」

大内「何かやらうと思ったら、まず、そこに入る勇気が大切だよ。今のままでいいやと思わないことかな」

辻「一歩踏み出す勇気さえあれば、技能や年齢に関係なく、まだまだ何でもできると思いますよ」



5周年記念
祝賀メンバー
「工具再研削 ツールセンター」の創立5周年記念パーティーには、トヨタ時代の上司などもお祝いに駆けつけました。そこで、かつての上司・加藤由人さんから送られた「人生の大半をかけて自らの血や肉とされた技能を掲げて、新たな世界で夢を追い続けておられる皆さんに心からエールを送ります」という言葉には、「自分たちの5年間の想いが集約されている」と谷山さんは話します。